

FEI はエンデュランス競技のウェルフェア問題について円卓会議を開催する

by Sara Lieser

FEI 会長ハヤ王妃は、アンドリュー・ファインディング（ヨーロッパ馬術連盟理事で英国馬術連盟事務局長）に対し、エンデュランス競技における懸案事項について検討する円卓会議の議長を務めるよう要請した。

FEI は、スイスのローザンヌにある FEI 本部で開催される円卓会議への出席を求めて、スイスおよびアラブ首長国連邦の国内連盟の代表と、ヨーロッパ馬術連盟の代表を招待した。FEI エンデュランス委員会委員長ブライアン・シーハンは、FEI 事務総長イングマール・デ・フォスと共にこの会議に出席する。円卓会議の日程は、近日中に決まる予定である。

「この円卓会議の目的は、当事者を一堂に会して目下の状況に関してオープンな議論をおこない、この競技の個々具体的な問題についてより良い理解を生み出し、実現可能な今後の方策について最終的な提言を受け取ることです。」とハヤ王妃は言った。「我々は、馬術競技で長年の経験を持つアンドリュー・ファインディングがこの重要な会議の議長を引き受けてくれて、とてもうれしい。」

FEI は、ドーピングスキャンダルや目に余る傷害ゆえに、エンデュランス競技を「クリーンアップ」するプレッシャーを受けている。

スイス馬術連盟は、5 月 27 日のプレスリリースで以下のように述べて、先鋒となった。「スイス馬術連盟は、動物のウェルフェアに関わる非常に嘆かわしい状況と、エンデュランスの国際大会におけるアスリートの不公平な扱いに関し、FEI に対して、すでにはっきりと不満を表明した。スイス馬術連盟は、今、FEI が諸問題を解決するための具体的な提言と即時のアクション・プランを提示することを期待している。」